

# 避難入院に関するアンケート結果

令和2年10月  
埼玉県疾病対策課

# アンケートの概要

## ○ 調査対象

- ・ 在宅(施設は除く)で人工呼吸器を装着している埼玉県(さいたま市を除く)指定難病医療受給者 **計225名**
- ・ 在宅か施設か不明の場合は、在宅として、対象とした。
- ・ IPPV等の間欠的人工呼吸器装着者も対象に含んだ。

## ○ 調査方法

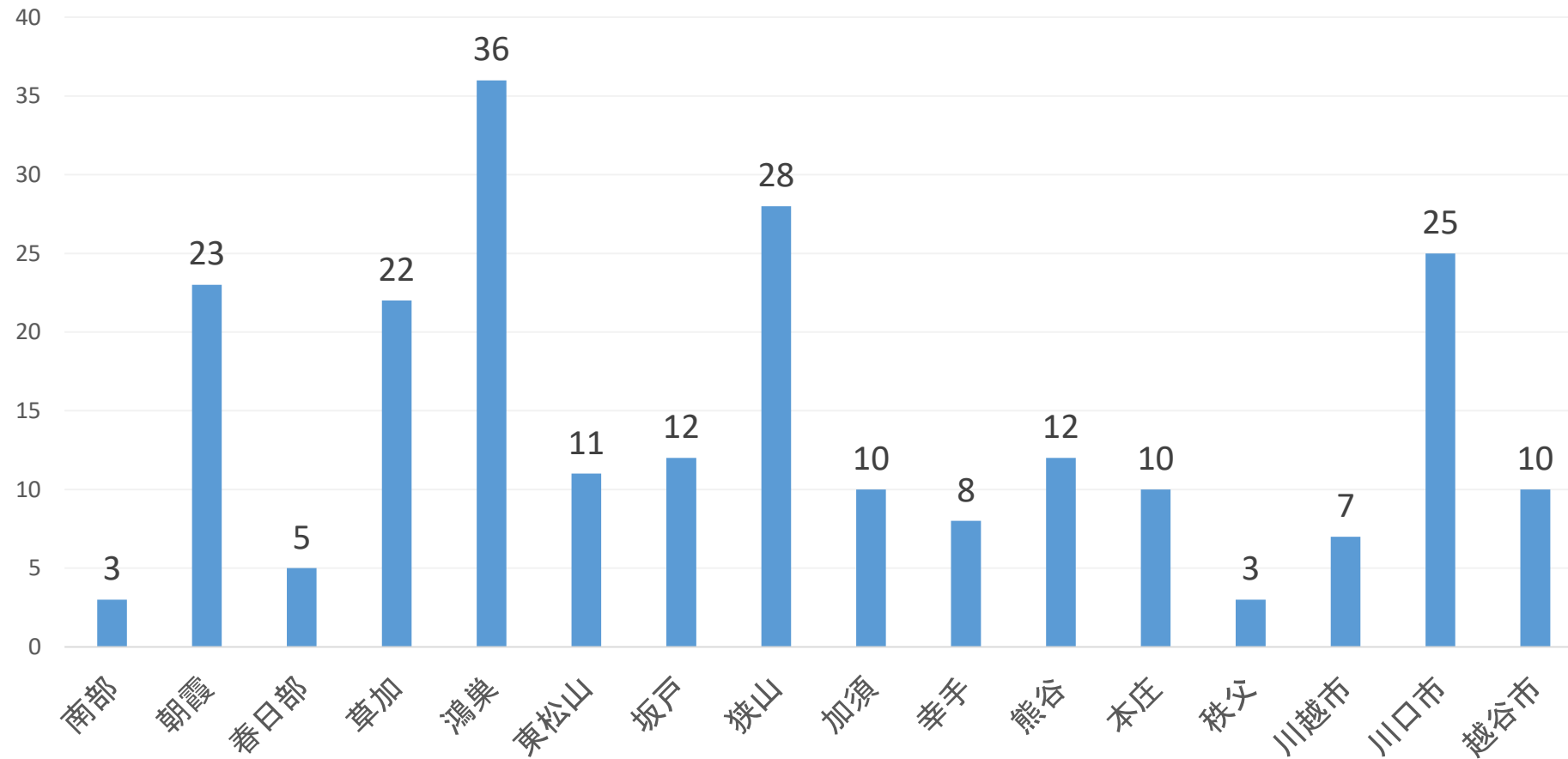
- ・ 対象者へ郵送にて、個別にアンケートを送付した。
- ・ 同封した返信用封筒で回答を得た。

## ○ 調査時期

- ・ 県保健所管内対象者 令和2年9月8日～令和2年9月30日
- ・ 中核市保健所管内対象者 令和2年9月16日～令和2年9月30日

# アンケート対象者

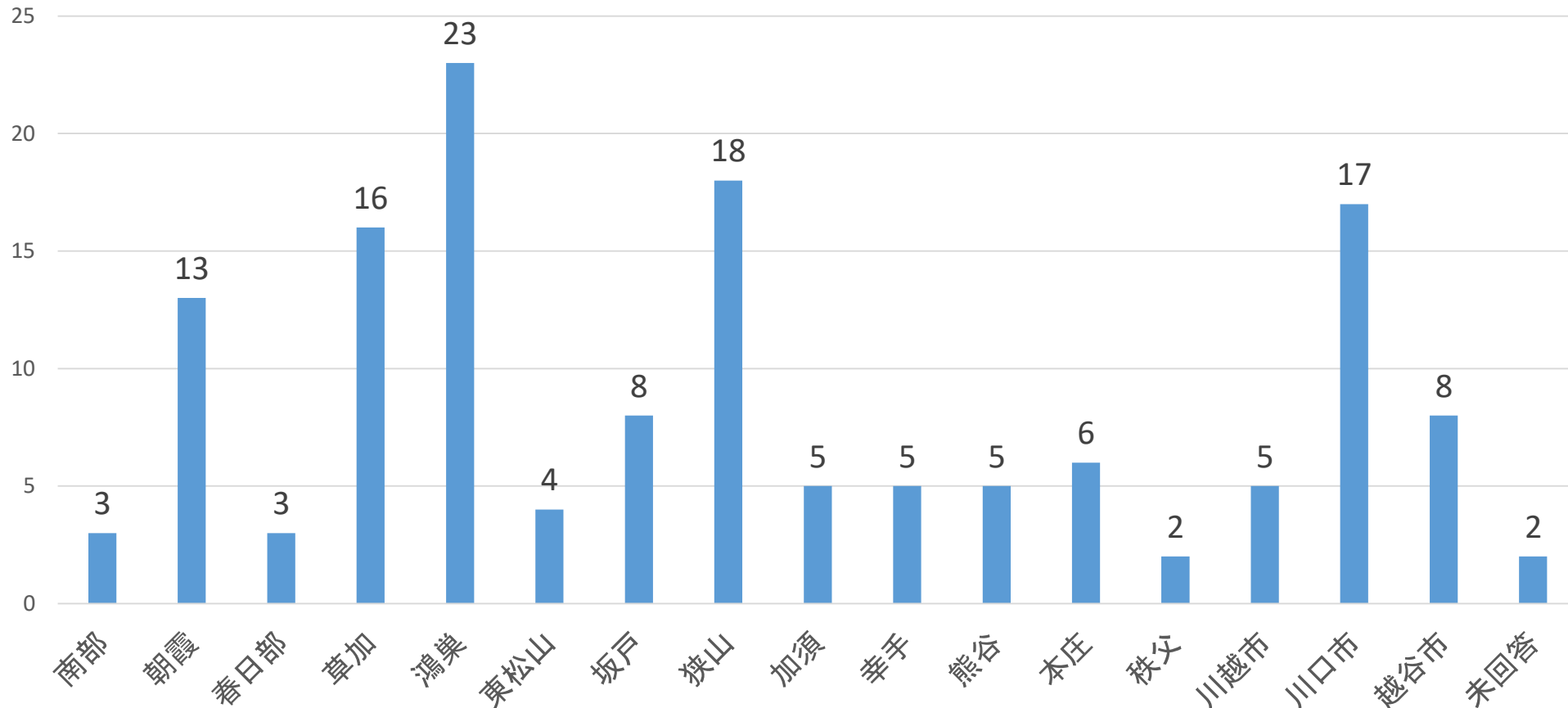
アンケート対象者の保健所別内訳(n=225)



# アンケート回答者

- ✓ 回答者は、合計143人であり、回答率は約63.6%であった。

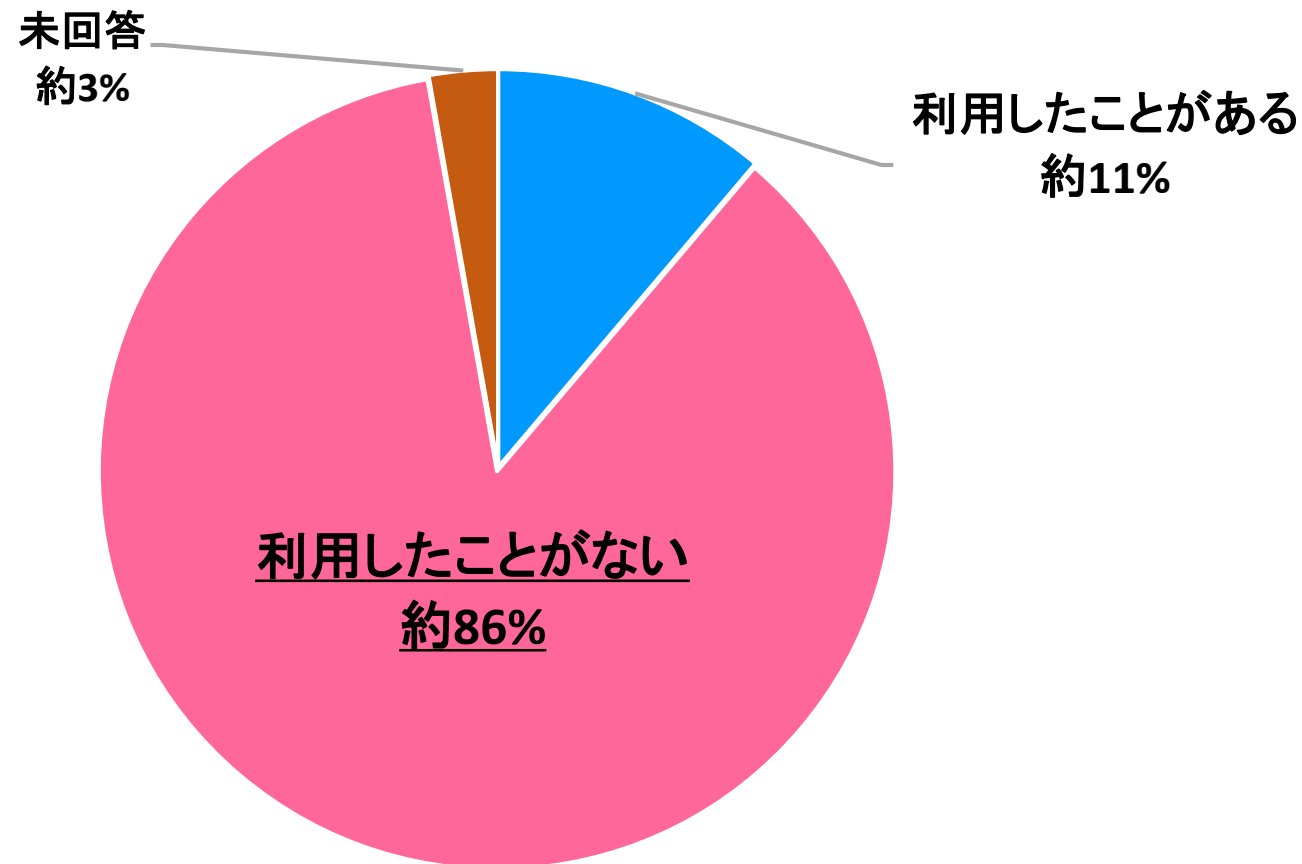
アンケート回答者の保健所別内訳(n=143)



# 在宅難病患者一時入院事業について

(1) これまでに在宅難病患者一時入院事業を利用したことがあるか。

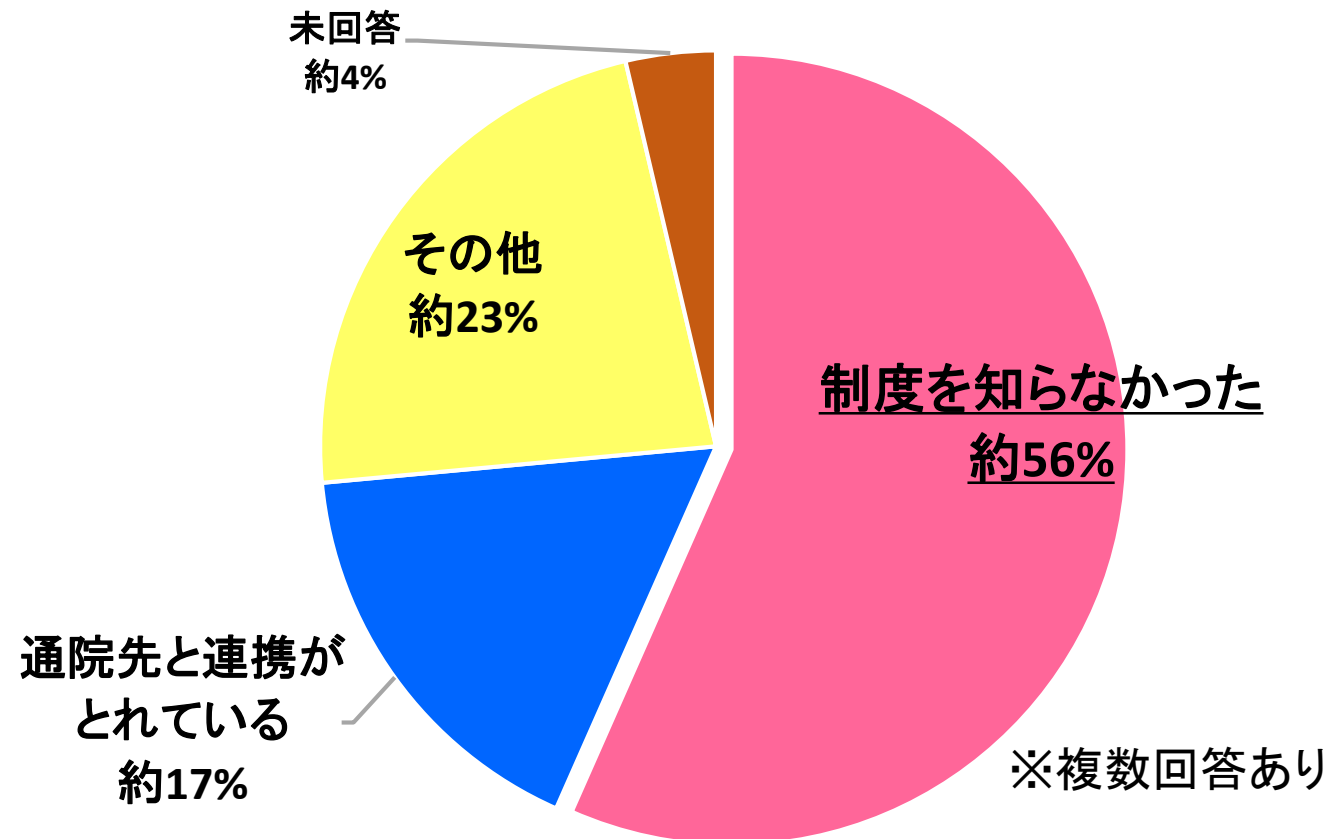
✓ 回答者143人のうち、本事業を利用したことがある者は、16人であった。



# 在宅難病患者一時入院事業について

## (2) 利用したことがない理由について

- ✓ 回答者の半数以上(約56%)が「制度を知らなかった」と回答した。
- ✓ 「その他」の理由で最も多かった内容が、「利用する必要がないから」であった。

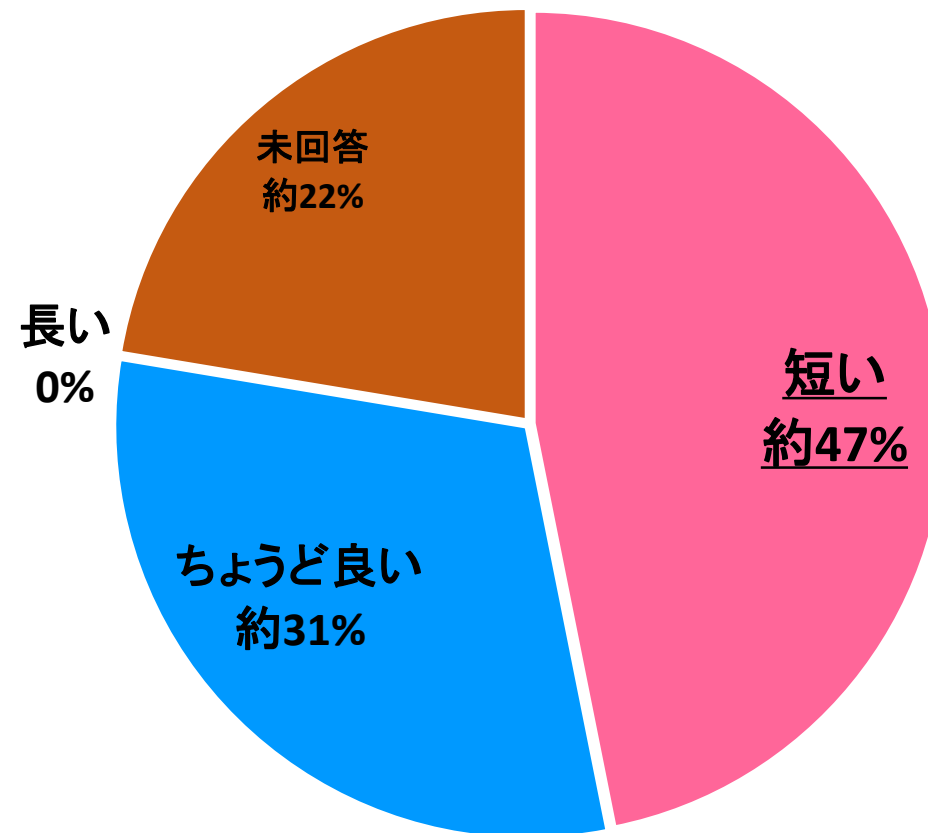


- 「その他」の理由(一部抜粋)
  - ・今まではあまり必要なかった
  - ・自宅に近い病院がなかったため
  - ・利用しなくてもレスパイト入院できる
  - ・利用するための手続きがわからない
  - ・近くに少ない。利用までに時間がかかる。

## 在宅難病患者一時入院事業について

### (3) 利用できる日数(同一年度14日以内)について

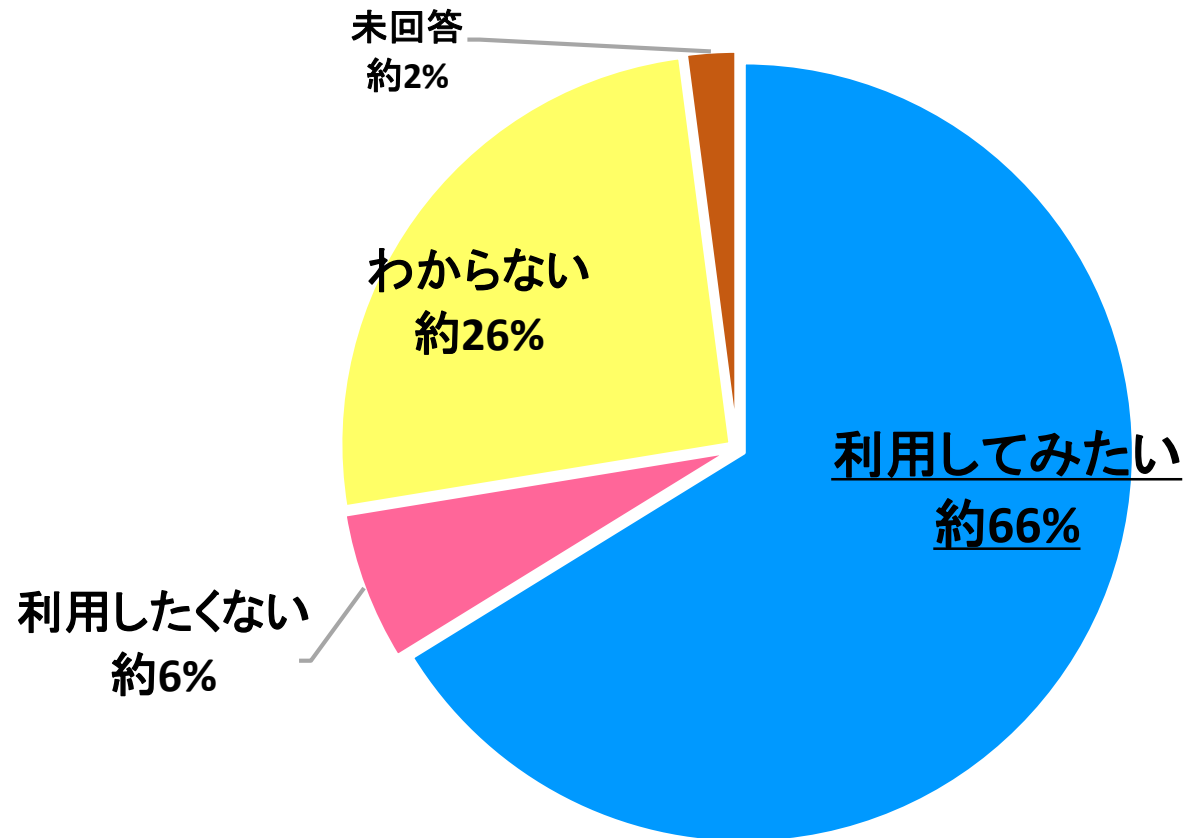
- ✓ 約半数が利用できる日数について「短い」と回答した。



# 避難入院について

## (1) 避難入院の利用を希望しますか。

- ✓ 「利用してみたい」と回答した者が最も多く96人で、約2/3を占めた。
- ✓ 「利用したくない」理由として、「付き添いをしたいから」や「希望する病院がよい」との回答があった。

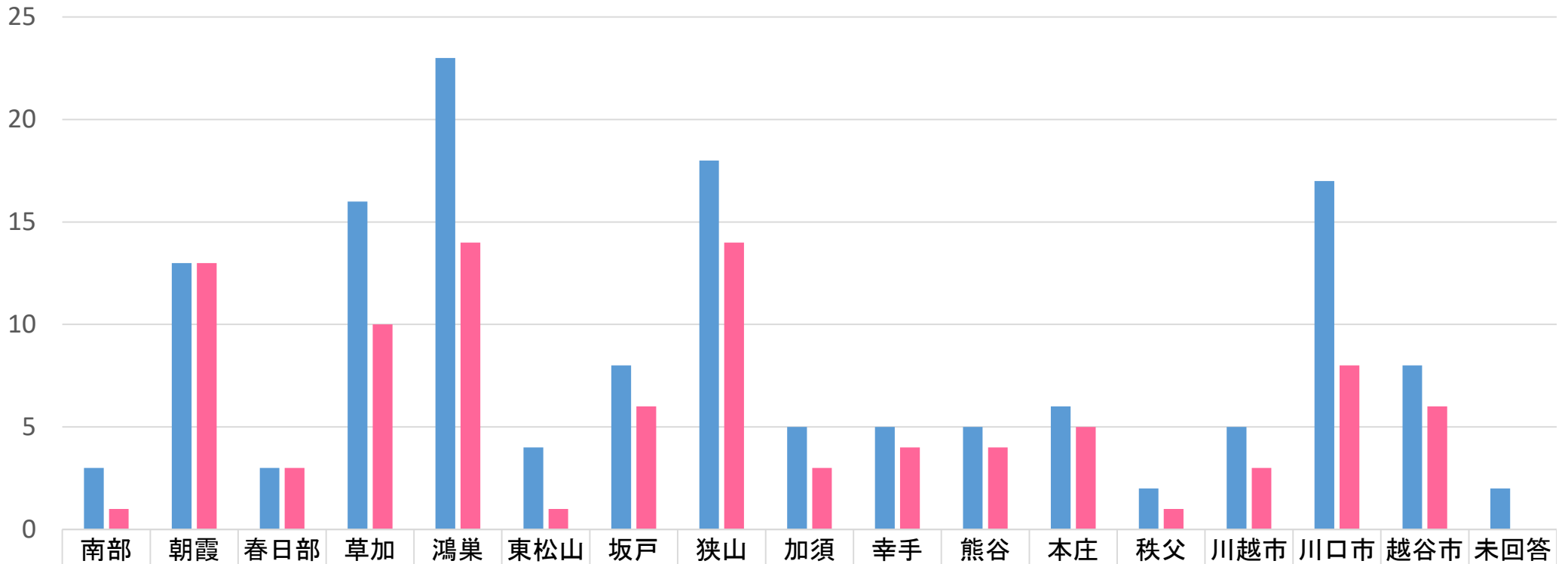




# 避難入院について

## ○避難入院利用希望者の保健所別内訳について

✓ 利用希望の有無について、地域によって、大きな差異はなかった。



■ 回答者	3	13	3	16	23	4	8	18	5	5	5	6	2	5	17	8	2
■ 避難入院利用希望者	1	13	3	10	14	1	6	14	3	4	4	5	1	3	8	6	0

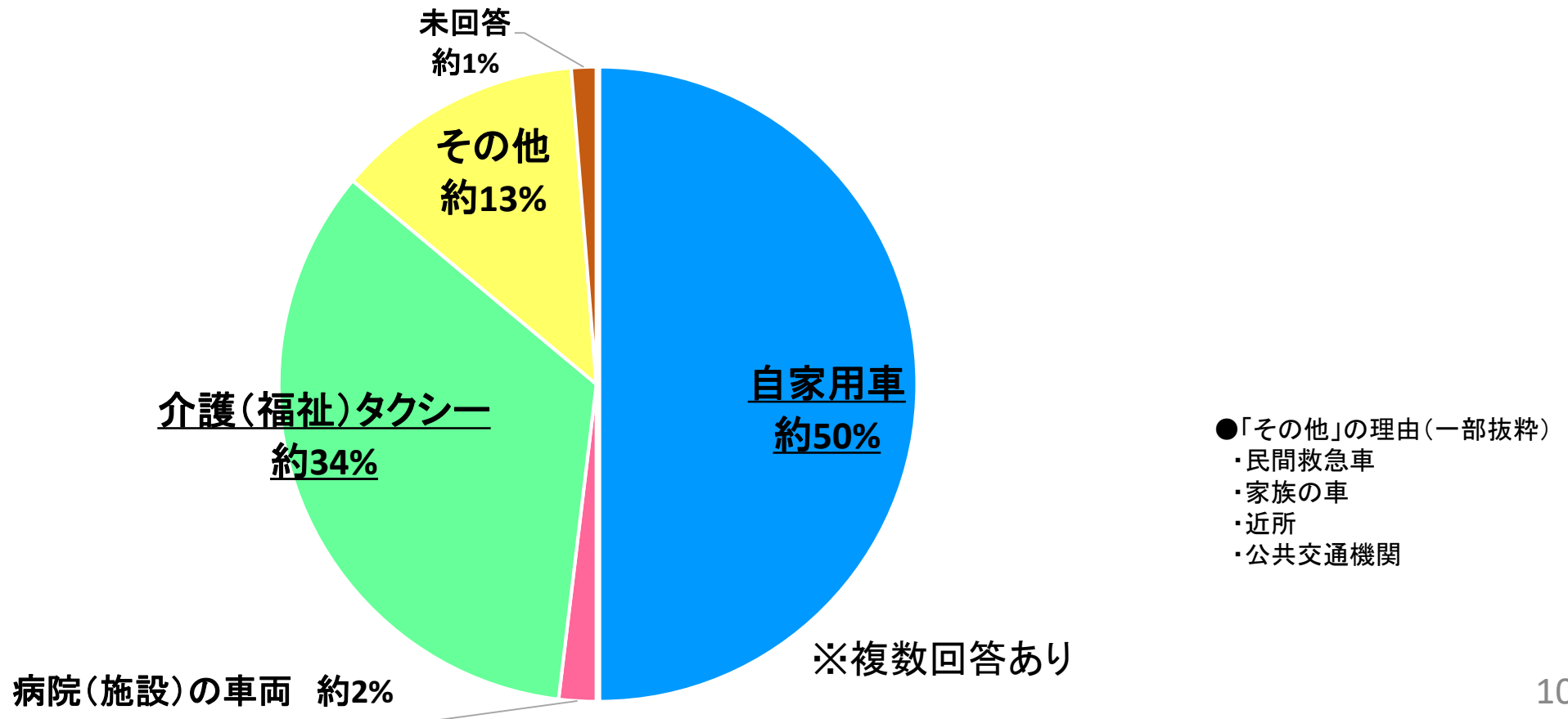
■ 回答者

■ 避難入院利用希望者

# 避難入院について

## (2) 病院や施設等までの移動手段について

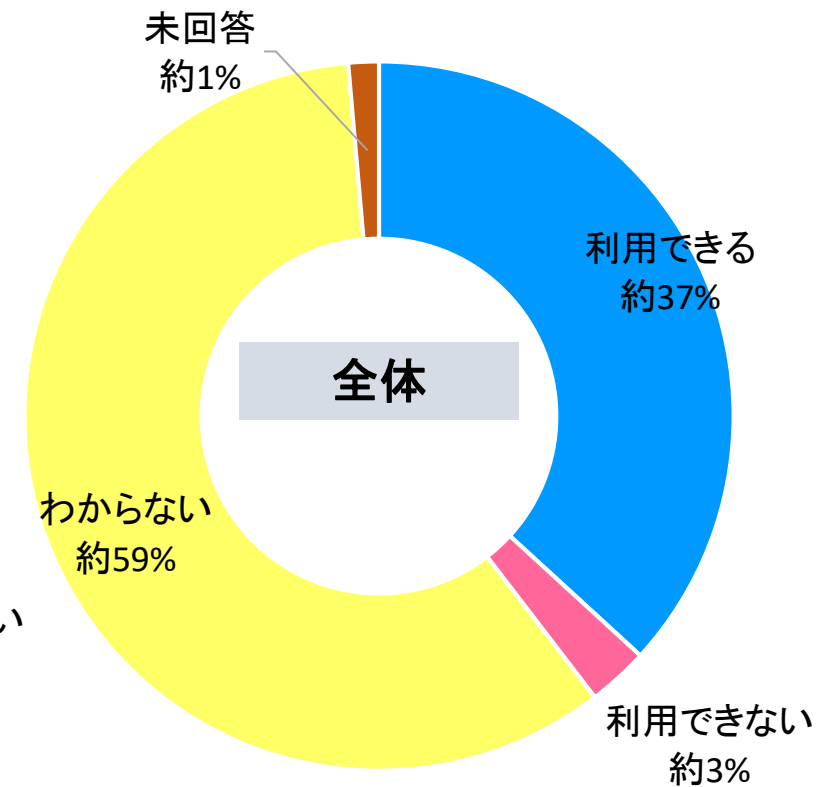
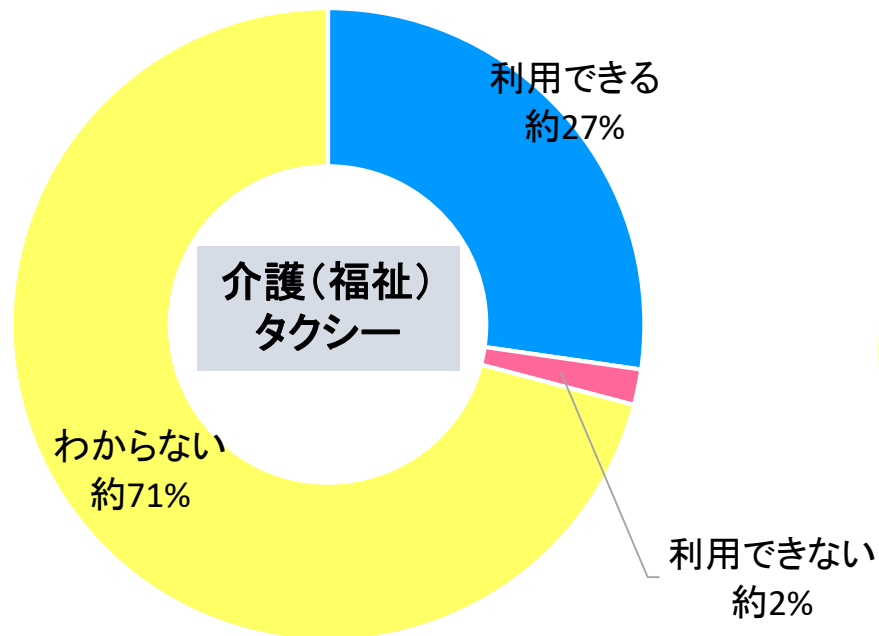
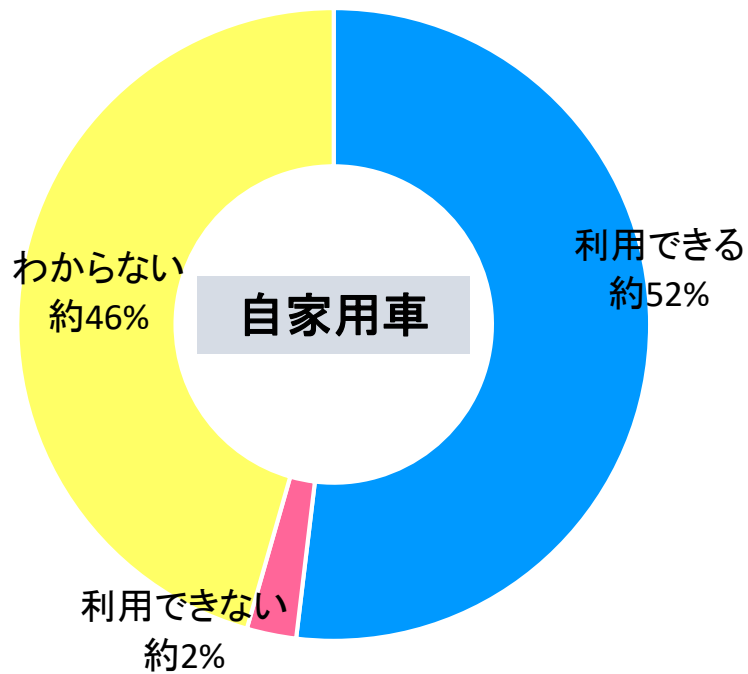
- ✓ 約半数が「自家用車」、約1/3が介護(福祉)タクシーを利用していた。
- ✓ 「その他」の回答のなかに、「民間救急車」と回答した者が複数いた。



# 避難入院について

## (3) 避難入院時に、現在の移動手段は利用できるか

✓ 「わからない」の回答が最も多かった。



## その他(ご意見・ご要望等)

アンケートの中にあつたご意見やご要望等について、下記のとおり一部抜粋した。

### 1 在宅難病患者一時入院事業について

- 近くに(病院が)少ない。利用までに時間がかかる。
- 同一年度には(利用できる日数が)短い。
- 利用したい状況の発生がなかった。
- その状況にならない様に皆で気をつけて生活している。
- 数か月前に予約しないといけない。急な事情の時に対応できない。埼玉県は遅れている。他県の対応はもっといい。

### 2 避難入院について

- いつも台風の時不安でいっぱいです。
- 去年の台風の時大変だったので是非避難入院制度を導入してほしいです。
- 停電の時には、是非お願いしたい。
- かかりつけの病院であれば入院したい。
- 家族1名付き添いが出来るのであれば